

本興寺塔頭堯運院文書概要

1: 文書群番号	122024
2: 文書群名	本興寺塔頭堯運院文書
3: 出所	野村屋（大物町商家、堀家）、一部本興寺塔頭堯運院
4: 家業・役職等	大物町名主、菓子・薬種小売商（野村屋）
5: 地名	摂津国川辺郡尼崎大物町／兵庫県川辺郡尼崎町ノ内尼崎町／尼崎市大物町
6: 行政区分	尼崎藩領／兵庫県第9区／尼崎町戸長役場／尼ヶ崎町／尼崎市
7: 歴史	<p>大物は平安時代以来の地名で、神崎川の分流河口の大物浦に面しており、西国と京都の流通を中継する港湾として商人が活躍した。</p> <p>近世には、城下町建設の際一部が侍屋敷となったほか、大部分が町人の居住する町場で、神崎の渡しから城下へと向かう中国街道が通過していた。</p> <p>大物町に店を構えていた野村屋は大物町名主を務めるなど有力町人であったと考えられ、菓子商・薬種小売などを家業とした。また、道意新田（現尼崎市）・上ヶ原新田（現西宮市）などの新田への投資を行い、経営にも関与していた。</p>
8: 伝来	<p>元来は大物町商家野村屋（堀家）の文書と思われるが、堯運院所蔵となった時期は不明。一部堯運院文書も含まれる。</p> <p>令和3年12月から令和4年1月まで岩城卓二氏（尼崎市立歴史博物館専門委員）の仲介により、本興寺塔頭堯運院文書の調査を実施。</p>
9: 史料入手先	現在も本興寺塔頭堯運院所蔵。調査結果として複写物を公開。
10: 点数	486点
11: 年代	承応2年（1653）～明治11年（1878）
12: 構造と内容	<p>大半が（1）大物町の商家・野村屋（堀家）の文書で構成されるが、一部（2）本興寺塔頭堯運院の文書も含まれる。</p> <p>（1）は、上ヶ原新田・道意新田などの新田開発及び経営に関わる史料、借用証文、大物町運営、名主としての役職に関わる史料、野村屋の家文書（婚姻目録）などがある。</p> <p>（2）は、堯運院住職であった勝田氏に関する史料で、丸亀藩京極氏より勝田氏あての給知宛行状などがある。</p>
13: 関連史料	-
14: 閲覧条件	複写物
15: 作成者	河野未央、松本望、三浦寿代